

Australia オーストラリア

放牧!!



～放牧の魅力～

牛のメリット

- ・自由が増える
(ストレスが少ない)
- ・舍飼いよりも運動量UP
- ・自然とAWにつながる
- ・病気になりにくく
↓
牛が健康で長生きです
長命産!!

人のメリット

- ・牛が健康で
治療費削減
- ・牧草EFLで人食べさせると
濃厚飼料削減
飼料自給率UP↑
- ・牛舎清掃などの
常勤時間と短縮
↓
低成本!

オーストラリアは
自然が豊かで
美しい風景が
広がっています！

環境のメリット

- ・景観の整う
- ・CO₂の削減につながる



消費者が
方法で
選ぶ

でも日本での放牧の割合は少ない。

・面積が少ないので、乳量が減るという理由が考へられる。
ただし、牛は山や耕作放棄地でも放牧できます

オーストラリアでは傾斜地も簡単に場所で放牧を行ってます！

乳量が少なくて、低成本を実現するとい、利益はあります！



「日本でも放牧は実現可能」

AUSTRALIA

～畜産をもっと身近に～

○日本

畜産業が身近ではない

- 近くで経営していない
- ・情報が届きにくい
- ・マイナス(大変、忙がしいなど)の情報が多く報道される

○オーストラリア

一般の家で牛や鶏を飼育している

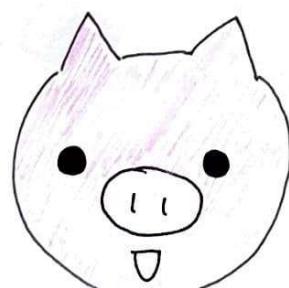
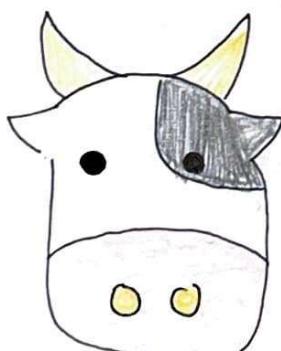
・放牧地が近いため家畜が近くにいる

・高校で畜産を選択できる



日本は自分で調べないと飼育方法や餌、どんな暮らしをしているか分からない

→ 消費者に情報が直で届く
畜産業を目指す!!



若い世代に

畜産を広める！

Australia

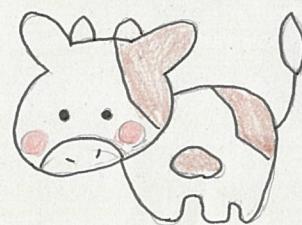
・小学校からの農業の授業

→幼い頃から畜産にふれている

・消費者の畜産物に対するこだわりが強い

→アニマルウェルフェアが徹底された飼育方法がいい

→ローカルのものでなければ購入しないなど



家庭で畜産物の選び方や飼育方法などが話題になる

オーストラリアでは若い世代が畜産に興味を持っているのでは？

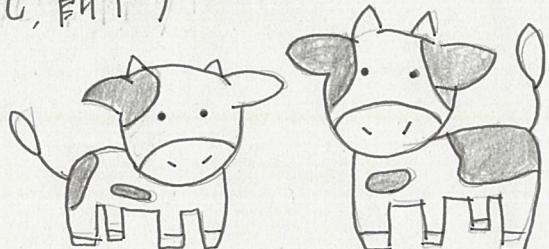
では日本では何ができる？

・小中学生の農業体験

→農業高校や大学などで牛舎等の見学や搾乳、飼やり

・グリーンツーリズムの普及

→家族での農業体験など



畜産を身近なものへ

畜産に興味を持つ人 **増加**
担い手確保 & 畜産の発展!!

久慈渚紗

牛と人・生物と環境の共存

宮城県農業高校 星 碧虎

Australia

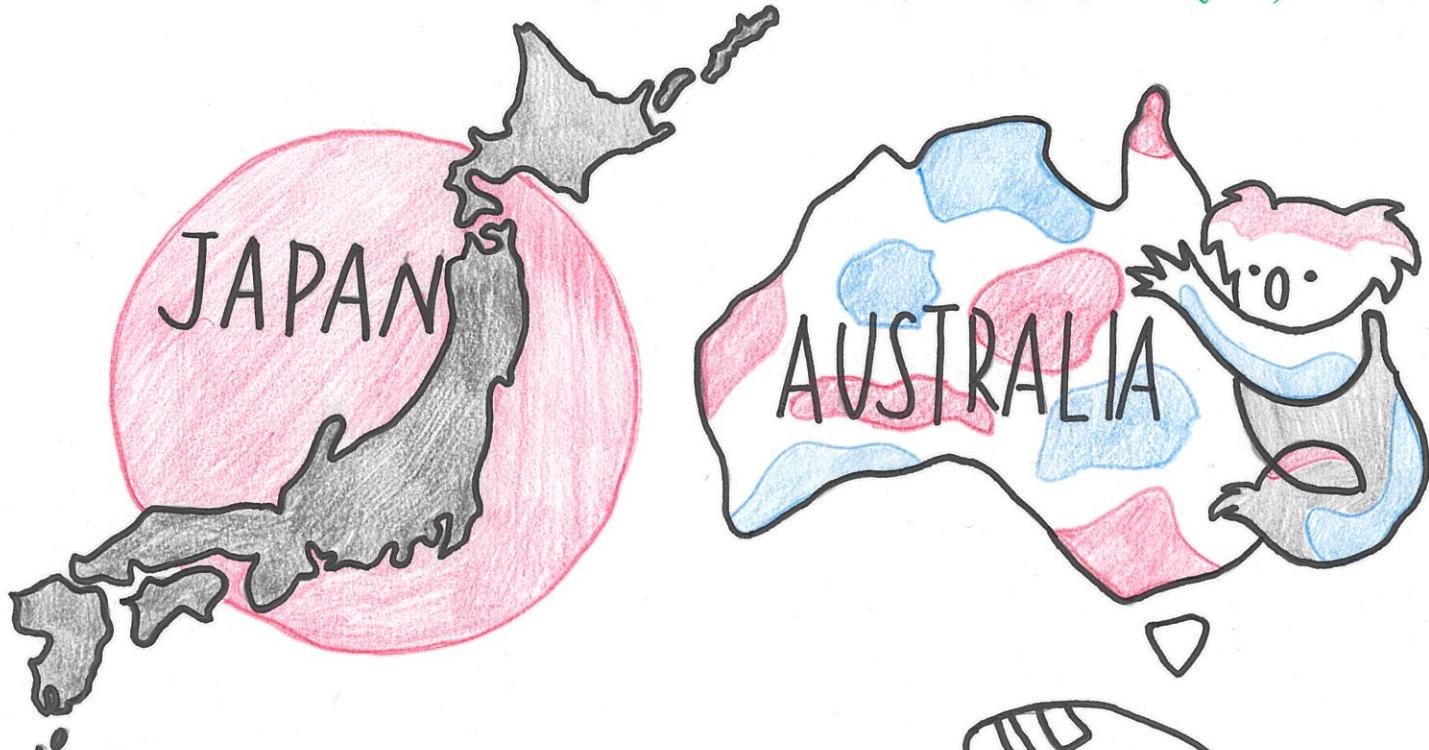
世界規模のオーガニック

→広大な面積を有効利用した放牧(AW)

→飼料などのコスト削減・牛は自由な生活を送れる

→環境に配慮した持続可能な畜産経営(オーガニック等)

牛と人がWIN-WINの関係になり持続的な共存の実現



Japan

9割が舎飼い 飼料は輸入に依存

→1頭1頭の飼養管理や衛生管理の高さ

→こだわり抜いた飼料の給与

しかし、コスト面での課題が多く挙げられる…

そこで

→耕作放棄地などを有効利用した放牧をしたらどうか

→コストの削減やAWに繋がる可能性 大

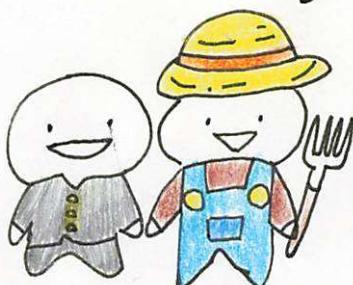
→自家飼料や持続可能な畜産にも注目する

コストの削減+付加価値=新たな収入源に!

日本だからできる、

日本でしかできない畜産経営に挑戦

日本の畜産を より良くするには!!



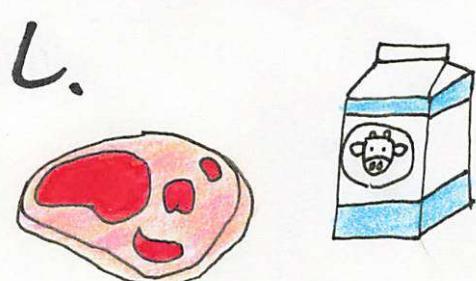
オーストラリアでは生産者と
消費者の距離が近い!



消費者の求めているものが生産者に
伝わり、生産者は消費者のニーズに合わせて
生産し、諸方に繋がる!

互いに利益がある関係!!

日本でもこの繋がりを作ることができれば、
国産の畜産物が流通し、
食料自給率も向上する!



日本がもっと食べて豊かな国になる!

オーストラリア 研修

岡崎 彩女

~ in Queensland ~

日本とオーストラリアを比べて…

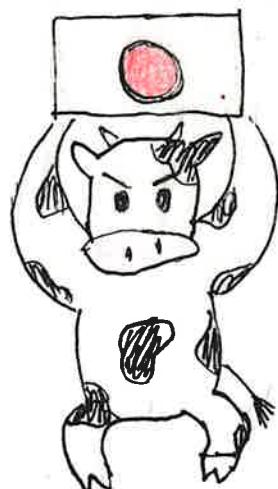
消費者意識 & アニマルウェルフェア



の大きな違いを発見!!



- 消・子供の頃から家畜動物と触れ合う機会が多い。
・「地元の畜産業を応援したい」という思いから、附加価値のついた高い商品を購入する人が多い。
- ③・生産性をあまり重視せず、家族が各自の好きな品種を飼育。牛をペットのように、楽しそうに育てる。



- 消・子供の触れ合い体験の実施を増やす
→ 畜産業に興味を持ってくれる!
・生産者の「物語」を伝える
→ 生産限場の可視化
- ③・生産者自身のウェルビーイングにつながることを伝える
→ セリがい、生きがい、牛への愛情を感じれる
消費者にモエリ質の良い畜産物を届けられる



＜牛も人も **幸せ** な畜産業へ!! ＞

Mao Hasegawa.

8/3 ~ 8/14

私達が描く未来の畜産

〈私が望む未来〉

働き手が増えて更に活発になる畜産

イメージアップ↑↑

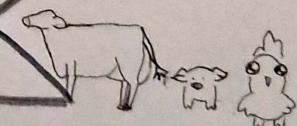
AUSTRALIA



から学べた事

アニマルウェルフェアを実施
畜産に対する意識が高
マランダ高校では小学生から
一般的な農業を勉強できる
オーガニックや土地を活かした
放牧etc...付加価値となる
世界の食を支える誇りのある畜産

日本の畜産をより良くしたい



きついきたない稼げないのイメージを減らす

生産者は“かり知つてもらおうとする努力をするのご”ではなく、
消費者も知ろうとする姿勢が大切。義務教育に農業
を積極的に取り入れてみたらどうか。

畜産物の背景を過程を知れて理解を広げれる

早期後継

→ 発展へ

個体ごとに合わせた
精密な管理技術

経営
技術

近隣農家との
交流

販売先や
消費者への
信頼

新規者の
勘

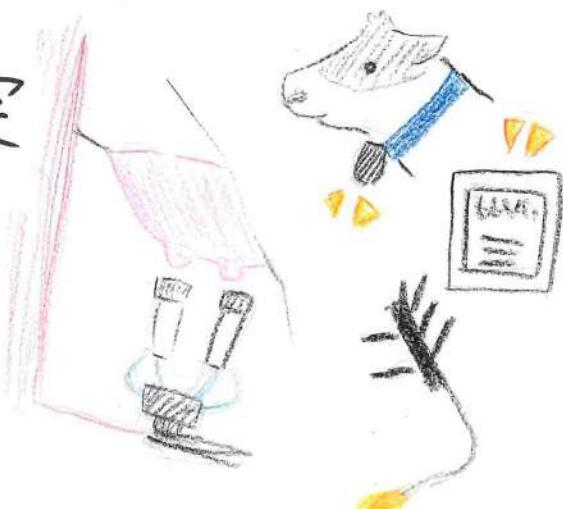
Auでは早いうちから
後継者が「経営に参加する
ことで、Step upに
繋げていきました



Jaでも早期から
共同経営を行うことで
新規就農者のカベと
なる技術不足や経営力
不足を防ぐことができま

加えて…

早くから後継者が「経営を安定
させ、自立できるようには」
AIやICTを活用した新技術
を導入可能になり、畜産業の発展
につながります



健康的でストレス な畜産 フリー

オーストラリアでは…



が当たり前

健康的

自由

広大

牛乳 牛肉

の
質 も良くなる

↓
ストレス

↑
アニマル
ウェルフェア

労働者の負担軽減
エサ代の削減 ↓ が可能になる

ストレスフリーのために オーストラリアでは

- ・子牛が遊べるふうボールを設置(酪農家さん)

- ・と畜前に、エサ・水を与える

- ・競りの時は、牛を驚かさない

日本でも取り入れて、ストレスを減らす

ストレスフリーな
飼育方法

でも お金 オカカラ

◎産

消費者に取り組みを伝えて ④産 の
畜産物を買ってもらうことで、多くの場所で ストレスフリーな
飼育ができるようにする!

同じ牧場から
来た牛は、同じ
スターズに入れられる



牛が しあわせ で、
質の向上につながる

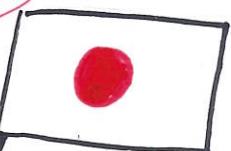
橋内 晟

オーストラリアの畜産

日本とは畜産に対する
考え方が全然違う!!



オーストラリアは... 日本だと...
畜産は大切な職 3Kのイメージ
が強い



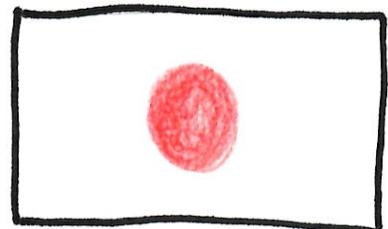
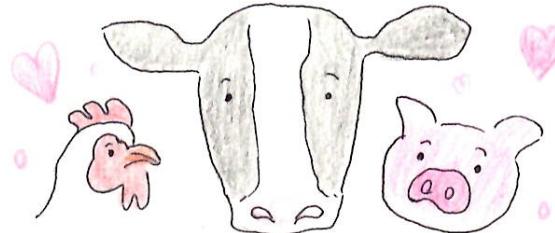
畜産のイメージアップをしよう!!

SNSを駆使して魅力を発信

日本の畜産業を豊かに!!

オーストラリアと日本

アニマルウェルフェア

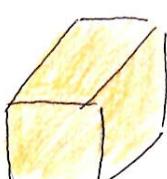
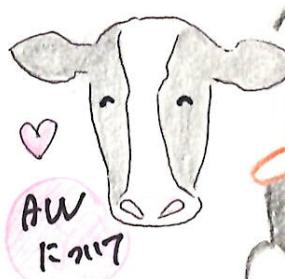


- ・生産者も消費者も AWについて強い関心と知識を持つている。
- ・消費者が AWを取り入れた乳製品を好みで買う。
- ・生産者にとって刺激になる。

- ・少しずつ AWの考えが広まっています。
- ・AWのことを知らない人が多い。
- ・生産者も AWを取り入れては利益にならないながら取り入れ下さい。



私が考えた
アイデア



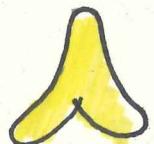
バター
作り

生産者

よりよい
畜産業へ！

消費者

熊倉花



も



も

幸せな畜産

に



オーストラリアでは…



放牧で自由に

×

ライフバランスの両立

AWで健康の維持

人々を支える

畜産業としての誇り



人も牛も幸せに過ごせる

これから日本で実現するために…

気候やライフワークに

あつた畜産



スマート農業・中山間地域の酪農団地
利用



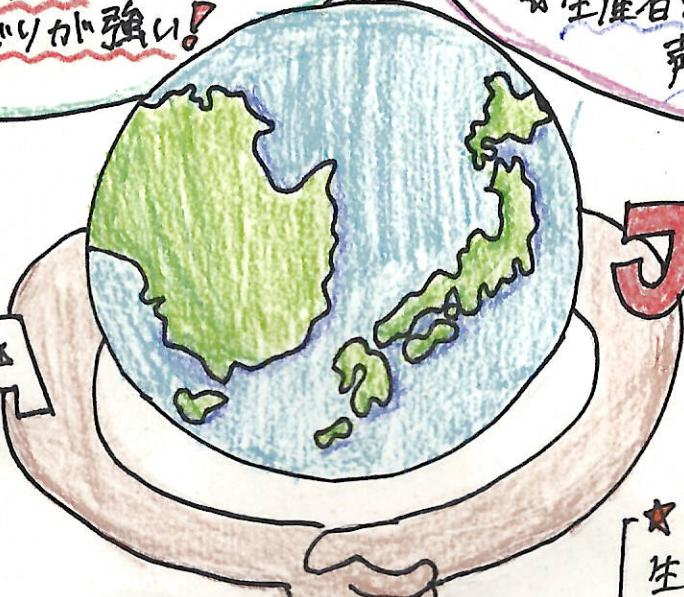
人にも牛にも寄り添った畜産で
畜産の幸せと発展に!

私の考える☆未来の畜産

・畜産に身近な生活
→消費者の畜産に対する意識 **(高)**
ニオーガニックなどのコタワリ商品の需要入
★生産者と消費者のつながりが強い!
つながりが強い!

・あまり畜産について知らない...
→口にする畜産物に対する意識 **(低)**
ニコタワリ商品の魅力が伝わらない。
↓需要↓
★生産者と消費者の互いの声が分かりにくい。

AUST RALIA



JAPAN かいゆうか



・案 (in Japan)

ちく Chat



★二水からの農業は、
生産者だけでなく、消費者も
協力し、共に生産物をつくり
あげていくべき!

X私がつくった
私たちがつくった
(Made By Us)

★生産者と消費者のつながりのかけ橋になるようなサービス♪

・生産者 = こんな畜産、こんな商品はどう? (夢) ⇒ 消費者に反応を呼びかける。
ウチはここにこだわっています! (今) ⇒ 写真、動画OK!

・消費者 = こんな商品、畜産があったらイイネ!! (夢) ⇒ 生産者に呼びかける。

★互いの夢や現状、要求について、イイネやコメントで反応、意見を示す。

⇒ 生産者と消費者のつながり=畜産での双方の役割が生まれる!

消費者 = 需要、アイデア、意見の供給

生産者 = 需要に応えるものを生産する

⇒ "みんなで"つくる畜産へ!

畜産

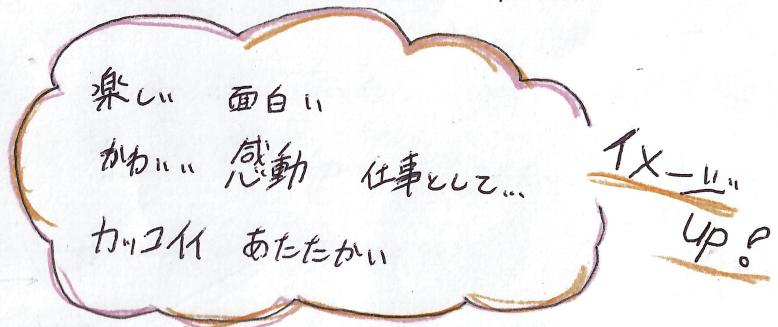
で Enjoy!!

畜産の楽しさ・面白さに触れてもらいたい

鳥本珠琴

それには 農業体験 が 有効的!

観光牧場 や フームステイ など ご家庭の世話を体験する



牛乳や肉・卵を買う時には

「安価だから」だけでなく「○○農場だから」などと
消費者オリジナルのこだわりを大事にしてもらいたい!
⇒消費者ニーズにより、ブランド化が高まりよりよいものが流通していく!!



生産者にも 楽しさ が!

色々な育て方を試行錯誤 される。

努力して作ったものが売れる 楽しさ。

やりがい や 責任感 も

私が目指したい畜産業

アニマルウェルフェアや持続可能な飼育をすること。

オーストラリアでは

ほとんどが放牧飼育

その消費者ニーズが充分

日本では

舍飼いが多く付加価値の

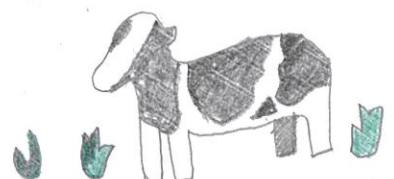
あるものに対して安価なものも購入する人が多い

耕作放棄地を放牧地に

白土 陽麻

私の住む広島県の世羅町でも
耕作放棄地の問題があります。

そこで、耕作放棄地を放牧地にすることを
考えました。



○耕作放棄地を放牧地にすると起る良い事

- ・今よりも畜産が活発になる。
- ・子どもや大人が畜産に関わる機会が増える。

あいた土地を有効に活用することで
町の活性化にもつながる！



あいた土地を

活用すれば、

牛も人も笑顔に！



畜産業の魅力をたくさんの方に！ 佐熊 安莉

日本の課題

・畜産業が身近ではない！

・3K意識がある！



畜産業を正しく
知ってもらうことが
解決の近道では？



オーストラリアでは、
機械化が進み
小学生でも、機械に
見ゆる機会がある！！

★ オンライン活用！

他県の畜産農家さんと繋がりながら、
畜産農家さん体験を実施する。
県内の中高生に募集をかけて、一週間の
体験を行う。

1日目

オリエンテーション

実際に体験開始

2日目

えさ作り

～5日目

ふん尿処理

6日目

5日間の学びをまとめて プレゼンテーション準備

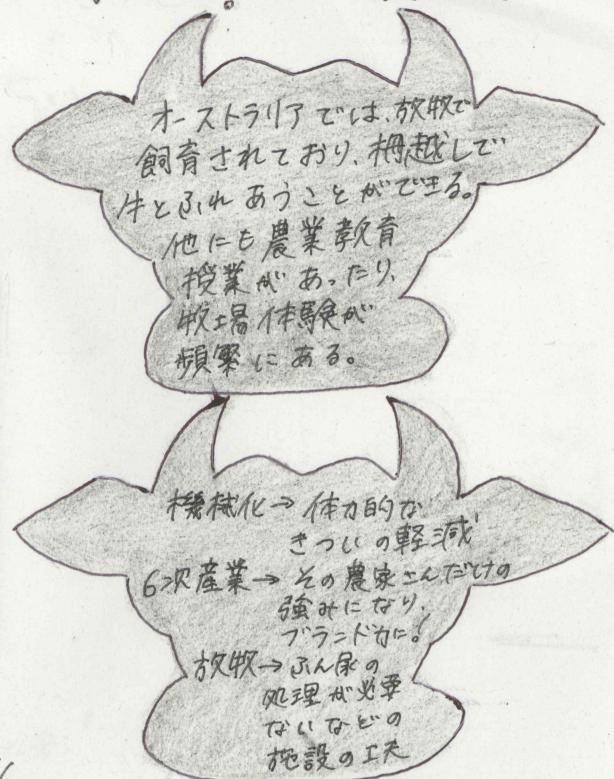
7日目

他県で畜産農家さん体験を行った人たちと
オンラインで繋がり、発表会を行い、畜産仲間を増やす！！

→ このアイディアで、畜産業に若者を増やす。

↓ 畜産業への理解者を増やす。

国産の畜産物（農産物）に興味を持てもらうことができ、
畜産農家がやりがいを持てチャレンジできる環境にする！！



目的

- ・畜産業を身近に！！
- ・畜産業の技術を見たり、実践してもらうことで

新3K (かっこいい感動する稼げる) を目指す。



・プログラミングなど

実際の仕事を体験。

・プレゼンテーション準備

畜産ティーン育成プロジェクト

若者 が描く 未来 の畜産



畜産業がどんなものが生産者か伝えただけでなく
消費者も畜産に興味、関心を持つことが大切。
両方が「変わらう、変えてみよう」とする意識が生まれることで畜産業は良いものとなると思う。

Q 消費者が畜産と関わるためにには？

1. 放牧やふれあい牧場を行い畜産を身边に
2. SNSの活用やTV放送で明るい話題を取り上げる
3. 学校などで畜産の授業の導入

しかし...

新規就農者や学生である若者の私たちだけの力では
実現できる範囲が狭い！

→消費者や先輩農家たちの力が必要。

畜産業はなくなってはいけない大切な仕事があるので、
半永久的に持続可能な畜産業を創り上げよう！

長崎県立諫早農業高等学校 宮田 亜沙

AUSTRALIA

AUは

消費者の意識が高い

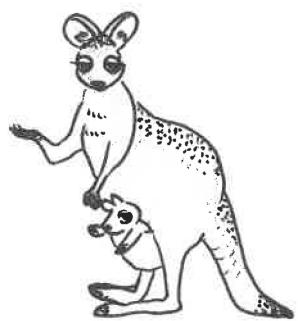
アニマルウェルフェア
オーガニック

ラクト-スフリー-ミルク
A2ミルク

国産

〔需要があるので商品の種類が豊富〕

豪州政府の取り組み
→国産マーク表示の義務



「消費者の意識高

生産者が需要に合わせて
生産・供給

消費者は商品を選べる！

生産者はより良いものを
生産できる！

田中 優羽

消費者 生産者
比 環境
較 家畜

畜産を
良くしたい！

私の目指す畜産

効率的な作業

牛愛牛尽



哺乳ロボットや機械の導入！

人が手作業でしなくても良い作業は機械に任せる！！

地域畜産業の活性化

畜産共進会や品評会に積極的に出品！

地域の人と協力することで、地域全体が盛り上がる！



オーストラリアで“学んだ”
吉産をする上で“大功なこと！”

“アニマルウェルフェア”や

“カウコンフォート”を大切に！

本プロジェクトでの全ての経験を大切に。

畜産王国、宮崎県を代表する和牛繁殖農家へ！

これからの日本の畜産業

八重山農林高校
田盛悠祐

~王里想~

生産者と消費者がWin-Winな関係

～アイディア～

①親子で畜産業を身近に感じてもらう機会作り

②畜産教育の導入



①親子で畜産業を身近に感じてもらう機会作り

・消費者(親子)で生産現場に実際にに行く

家畜動物との触れ合い

- ・給餌体験・搾乳体験
- ・ミルク哺乳体験

生産者の声

- ・生産物に対する想い
- ・畜産業に対する熱
- ・畜産業の現状を知る

畜産業の魅力や楽しさを肌で感じることができ、

生産者のリアルな声を聞くことができる。

②畜産教育の導入

小学生～中高生向けに、畜産業が日本になくてはならない産業ということ、畜産業があることが当たり前ではないということを勉強する。

この2つを行うことで…

日本国内の消費者意識向上アップ↑

生産者が生産した畜産物を消費者が積極的に購入
→地産地消・食料自給率アップにも繋がる

最後に…

長い歴史の中で先人達が継承してきた畜産業を今よりも
よりよい産業にしていきましょう!!